

# 第1回臨時会

## 令和4年1月27日

令和3年度 一般会計補正予算

全員賛成で可決

3億6979万円を追加

総額 121億4454万円

生活・暮らしの支援を

非課税世帯等臨時特別給付金事業 3億4976万円

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、さまざまな困難に直面した皆さんに対し、速やかに生活・暮らしの支援を行うため、全国一律の給付金を支給します。

対象になるのは、非課税世帯または新型コロナウイルス感染症の影響で家計が急変した世帯で、1世帯当たり10万円を給付します。

詳細はこちら



須恵町ホームページ

町独自で対象外の世帯へ

子育て世帯への

臨時特別給付金事業 2003万円



昨年12月、国の子育て世帯に対する支援として、18歳以下の子ども一人当たり10万円が給付されましたが、所得制限により対象外となった世帯もあります。今回の補正は、その対象外となった世帯に対し、町独自で一人当たり10万円を給付するものです。

### 議長通信



松山 力弥 議長

### 議会のあり方とは その2

#### (長期欠席の議員報酬)

各種法令には、議員の長期欠席について規定がされてなく、病気等により長期欠席した場合においてもその身分は保障され、議員報酬及び期末手当は通常通り支給されます。地方自治法の逐条解説には、「議員報酬は、一定の役務の

対価として与えられた反対給付]であると記載されています。

議員が議会を欠席することは、議員活動を通して役務(町への利益)の提供が一部されないということになります。

当議会は、議員が病気等により90日を超えて議会等を欠席し職責を果たせない場合、その欠席の期間に応じて段階的に議員報酬等を減額する条例を制定することにしました。

議員が安心して治療に専念し体調が回復した際には、議員活動に復帰できる環境を確保し、最終的に

には議会力及び住民の福祉の向上に繋がるとの認識からです。

ただし、この条例の制定はあくまで議員の復帰を前提としたものであります。残念ながら復帰が難しい場合、または当分の間、議員活動ができない場合、その議員の出处進退(議員辞職等)は自らが決めるものと考えます。

※詳細はP13へ掲載しています。

### すえっ子未来塾

-2022年GW-

おばあちゃん



未来〜! 久しぶりだねえ!



盆と正月が一度に来たわいね



来たのはGWだよ? ...大丈夫?



作・田原ウーコ  
1979年須恵町生まれ。イラストレーターとして福岡を中心に九州・東京の広告やエディトリアルにて活動中。 <https://polyworks.jp>

### 人事案件の審議結果

須恵町教育委員会教育長の任命

須恵町教育委員会教育長 安河内 文彦氏が令和4年3月31日をもって辞職するため後任として選任

任期 令和4年4月1日～令和6年6月30日



全員賛成 同意

### 諮問の審議結果

人権擁護委員の推薦

岡本 省二氏(大島原区・67歳)

任期満了に伴い再任

任期 令和4年7月1日～令和7年6月30日



全員賛成 賛成

### 本会議傍聴のご案内

本会議は一般に公開されており、簡単な手続きで傍聴することができます。傍聴を希望される人は、本会議当日に役場4階議事事務局の窓口にお越しください。(予約不要)

議会議生で生でみよう!



次の定例議会は6月3日からの予定です。

ホームページで会議録を公開しています。



須恵町のホームページで、本会議の会議録を公開しています。

(平成23年以降の会議録を掲載)

URL: <http://www.town.sue.fukuoka.jp/>

須恵町議会

検索

### 町長再選



平松 秀一氏(上須恵区・67歳)

4月12日に告示された須恵町長選挙において、平松秀一氏が無投票で2期目の当選を果たされました。任期は、令和4年5月1日から令和8年4月30日までです。

### 新任議員紹介



百田 輝子氏(佐谷区・63歳)

4月17日に執行された須恵町議会議員補欠選挙において、百田輝子氏が当選されました。任期は、令和5年4月30日までです。

【所属委員会】  
文教厚生委員会

### 追跡 一般質問のその後

執行部の答弁は実行されているのか?

過去の一般質問の内容に対し、どのような対応がなされたか、また、どのように町政に反映されているのか追跡しました。

### 学校等のコロナ対策は(令和3年9月議会)

質問 学校等の感染対策、オンラインの活用等についてお聞きします。

答弁 オンライン授業については、家庭への持ち帰りWi-Fiルーター3クラス分120台を契約し、学級閉鎖時に対応できる環境整備を行っています。

その後

進捗状況 今年2～3月、学級閉鎖となったクラスで、タブレットを活用し健康観察や1日2回程度のオンライン学習を行いました。その他にも、教員が自宅待機となった際に自宅から授業をするなど、さまざまな面で活用しています。

また、活用する中で、先生の声が聞こえづらいなどの改善点も見つかリ、その都度対応しています。今後も工夫をしながら、環境整備に努めます。